



令和初の例大祭

清和天皇社例大祭

5月3日は水尾の清和天皇社例大祭だったので、お詣りさせていただきました。地域の氏子の方々が集まれ、清和天皇へ感謝の祈りを捧げておられました。

参拝客の中には、連休で帰省して来られた方やそのお子さまたち、見学に来ていた大学生など、多くの人々が集まり賑やかな様子でした。

令和になっても、この地域をいつまでも守ってくださいませように。



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二―五 岩陰出張所
電話 〇七七一 四四 〇三一四

万燈山から

棚田を眺めて



岩陰の棚田のビューポイントである万燈山。この時期はハイキングの方も多く、「棚田が見えるここはどこ?」「歩いてどれくらいかかるの?」と聞かれるので、確認するために散策してみました。

きちんと手入れはされているようで、倒木もなく、楽に登れることができました。出張所前から大体往復1時間ほどかかるといわれていますが、30分ほどで登ることができました。

別の日に万燈山から越畑に抜ける道を行ってみました。倒木が多く道に迷いました。何とか越畑まで下りることができましたが、小さい山でも油断は禁物ですね。

万燈山の先は
すっげえ
きつかったゾ～



日の要慎

▽この季節になると蛇をよく見かける。母親譲りの蛇嫌いなのだが、実は自分が怖がっているよりも、蛇は人を怖がっている。近づいただけで、蛇は逃げていく。

▽先日帰り道に轢死した蛇を見た。死んだ蛇の顔を凝視してみると、気持ち悪いという感情より、哀れみの感情が上回り、掴まえて草むらに寝かせた。この時、私は初めて蛇に触れた。

▽鷹に捕食されたり、倒木や落石で潰されたりして死ぬ分には自然の摂理なので、問題はなからう。だが、アスファルト舗装された道路の上で、車に轢かれて死ぬとは蛇も本望ではなかったであろう。

▽山間地域では、蛇やムカデ、鹿など多くの野生動物に遭遇する。これらは神の使いとされていたりする*。必要に応じて、身の危険を守るべくして、殺すことは否定されないが、不必要に殺すと罰が当たりそうだ。自然と調和した生き方を。

*神の使い～蛇（とりわけ白蛇）は多くの神社では神の使いとされ、ムカデは毘沙門天の使い、シカは春日権現の使い、イノシシは愛宕権現の使い、などとされている。

大切なものをどう残すのか？

ムラツムギセミナーに参加して

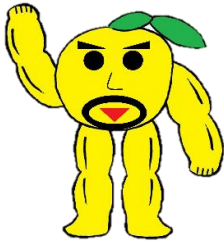


「ムラの終わりを考える」と聞くと思うでしょう。元・綾部市のコミュニティナーの方が中心となっている「ムラツムギ」という団体があり、地域の終わりを見据えた地域支援の在り方を模索している団体です。この三月から東京や京都市内でセミナーを開催されており、私も何度か参加させてもらっています。

前回のセミナーでは、地域の財産をどうやって未来に渡していけるか、といったことが討論の議題になりました。ここでは、そもそも地域の財産とは何かといった根本的なことから始まりました。地域にはお金や土地・家といった有形的な財産だけでなく、伝承や文化、名所といった無形的な財産があります。それらが地域のアイデンティティを基礎づけている重要なものであり、誇りにつながっていくものなのだ、と改めて気づくことができました。夕陽の風景、棚田や柚子への農家の方々の想い。これらも貴重な財産です。

切り出しは「地域の終わり」という結構取っつき難いことだったのですが、あえて終わりを意識することによって、活性化の在り方を模索すると、地域の未来や残すべき財産が何かというのが見えて、活性化も充実しそうな気がしています。ムラツムギについて興味がある方は五明まで。

なんか、参加者も内容も濃いな・・・



今月の一枚

「蛇の喧嘩」

棚田を散歩していると、蛇に出くわしました。その後きた道を帰ると、さっきの蛇がほかの蛇と喧嘩していました。互いに噛みつき合い、身体を絡ませ、バタンバタンと戦う様子は圧巻でした。蛇嫌いの人、ごめんなさい・・・

いいよ！
来いよ！

お前も蛇と戦ってきたら？

ダメです。

